

社会科教育

2001年
3月号
Vol. 38 No.498

特集 「まとめの表現活動」スキル&実物紹介38例

●20世紀を象徴するキーワード：私の意見 12

「国家」「社会」「イデオロギー」

馬居 政幸

世紀末の一〇年間、一衣帯水の半島国に流入した日本文化をフィルターにして自国を眺めてきた。それは、「日本人は自分が愛国者であることを自覚しないほど愛国者」とのソウルの友人の言葉への戸惑いから発した自己と自国のかたちを求めての歩みでもあった。その一歩として、「国家・社会の形成者」という言葉の認知の確認から社会科教育法の講義を始めてみた。結果は焦点を失った学生の目線。問題は言葉ではなく概念の未構築。だから教育基本法の改正を、との声が聞こえてきそうだが、私の答えは否。それは彼ら彼女らの国家・社会への信頼の証だから。彼ら彼女らに社会科を教えた教師も同じ。あえて教える必要がないほど当たり前のこと。国家・社会の存続を誰一人疑っていない。まして壊そうなんて思いつくことさえしない。

だが現在の日本国は二〇世紀の産物、自生



和のゆらぎ

社会科は米國輸入品とされる。だが米國製なら国家と社会、社会と社会、何よりも個人と社会の緊張関係に貫かれているはず。相互の調和を是とする社会科は優れて日本製。その意味で「国家・社会の形成者」というイデオロギーの虚偽性が暴かれない限り安泰。だが日本国自体の再構築が要請されるのが二一世紀。社会科に残された時間はどれほどか。

《静岡大学教育学部教授》

的な社会（コミュニティ、ゲマインシャフト）ではなく、意図的に組織された社会（アソシエーション、ゲゼルシャフト）。ただし、企業、団体、グループ、みんなアソシエーションのはず。なぜ国家は特別なのか。他の社会と利害が対立した場合どうするのか。国家を最上位に置き、その形成と他の社会の形成が相互に対立・矛盾しないこと。これが戦後日本のイデオロギー。その終焉はベルリンの壁崩壊ではない。その理由の一つは三八度線の存在。日本の冷戦終焉への道は半島の北側で生活する人への戦後処理から始まる。二つは国家と社会の予定調和のゆらぎ。

総合的な学習の内容は、「国際理解、情報、環境、福祉・健康」といった21世紀を生き抜く子どもたちの基礎・基本とも言えるべきものです。

こんな主張があります。上記の「」の内容は、日本の緊急かつ重要な順に並んでいるというものです。つまり一番大事なのが、「国際理解」、次に「情報」ということです。この二つの課題の重要性は、各答申や文部省から出ているパンフレット等を、注意深く読むと分かります。

社会科6年生「日本と関係の深い国々」の単元と、「英語」の授業を同じ時期に実施します。世界で異なる国々の人々が、共通語として話しているのは多くの場合が英語です。日本人は、ますます英語を通じて、世界の人々と仲良くやっていくことが大切です。

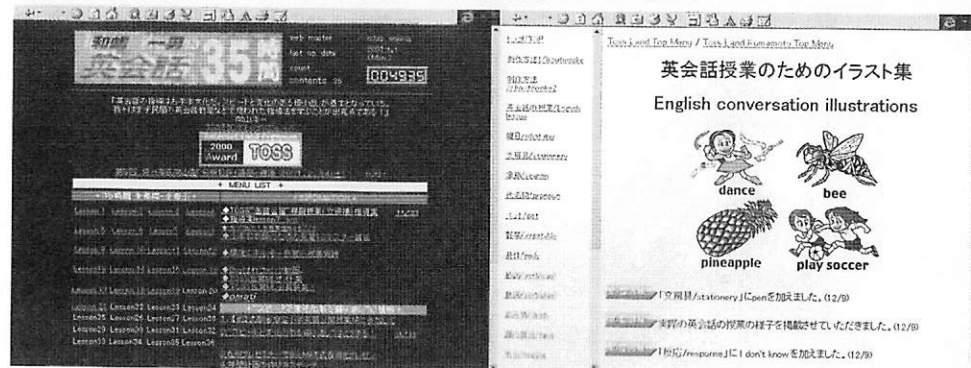
そこで、本連載の最終回として、総合の中でも特に大事な、「小学校英語」の授業が具体的にイメージできるサイトを紹介いたします。

「英会話35時間全発問・全指示」和嶋 一男氏制作 (左下)

<http://island3.matsuronet.ne.jp/wajiwaji/>

授業が、発問と指示によって、すぐに追試できる形で載っています。「スピードと変化のある繰り返し」が必要だという主張を、具体的な授業で提案しています。

「小学校英会話の授業」(大野木一雄氏制作) <http://ww3.tiki.ne.jp/~k-oonogi/index.htm> にも、同じ観点から、数多くの授業プランが提案されています。



「英会話授業のためのイラスト集」前田 康裕氏制作 (右上)

<http://raq1.aminet.or.jp/~yasu/illustrations/index.htm>

イラスト集も出版している前田康裕氏のサイトです。このページには、英会話の授業で使えるイラストが数多く載っていて、「曜日、文房具、代名詞、身体、動詞、顔の部分」などが、英単語とセットで描かれています。どのイラストも一度見たら、教室で使ってみたくること請け合いです。

このイラストなどを使って、「スピードと変化のある繰り返し」の英会話の授業が全国で行われることを願っています。



新田賢一氏の授業



坂口利一氏の授業



今村 靖氏の授業

特集 “まよめの表現活動”スキル&実物紹介38例

21世紀型の表現活動IIプレゼン能力をどう育成するか

堀田 龍也...9 東田 昌樹...10

林 誠...11

ニューメディア活用表現活動II特徴を生かした使い方
パソコンの特徴を生かした使い方
インターネットの特徴を生かした使い方
デジタルカメラの特徴を生かした使い方

北林 和生...12
笹原 克彦...14
高橋 勲...16

共同する「まよめの表現活動」II長所と留意点

「ポスターセッション」の長所を生かした取り入れ方
「ディベート」の長所を生かした取り入れ方
「インターネット」の長所を生かした取り入れ方
「プレゼンテーション」の長所を生かした取り入れ方
「サミット型」の長所を生かした取り入れ方

林 敏幸...18
榎原 一陽...20
溝口 俊治...22
黒木 靖...24
宮崎 幸之介...26
齋藤 幸之介...28
小林 理人...30

「発表会」の長所を生かした取り入れ方
「発表会」の長所を生かした取り入れ方
「発表会」の長所を生かした取り入れ方
「発表会」の長所を生かした取り入れ方
「発表会」の長所を生かした取り入れ方

赤木 勲...32

活動場面に応じて表現活動を選ぶポイント

「見学」「調査」「体験」「観察」の表現活動II選ぶポイントはどこか

いつでもどこでも「基本の表現活動」スキル&実物例

ガイドブックづくり...スキル&実物例
旅行パンフレットづくり...スキル&実物例
新聞づくり...スキル&実物例
説明図づくり...スキル&実物例
表グラフづくり...スキル&実物例
挿し絵づくり...スキル&実物例
カードづくり...スキル&実物例
コマシヤルづくり...スキル&実物例
経路図づくり...スキル&実物例
絵地図づくり...スキル&実物例
カルタづくり...スキル&実物例
双六づくり...スキル&実物例

相良 和久...38
佐竹 康弘...41
勝又 智昭...44
芝田 英樹...47
柏木 康裕...50
前田 隆浩...53
福田 尚貢...56
梶井 貢...59
永谷 剛...62
岩崎 秀人...65
土屋 秀人...68

クイズづくり...スキル&実物例
劇づくり...スキル&実物例
ロールプレイ...スキル&実物例
ホームページづくり...スキル&実物例

西尾 大川...74
大川 裕宏...77
附田 豊...80
佐々木 豊...83

この学年の「まよめの表現活動」II私の推薦ベスト3

小学3年の「まよめの表現活動」私の推薦ベスト3
小学4年の「まよめの表現活動」私の推薦ベスト3
小学5年の「まよめの表現活動」私の推薦ベスト3
小学6年の「まよめの表現活動」私の推薦ベスト3
中学地理の「まよめの表現活動」私の推薦ベスト3
中学歴史の「まよめの表現活動」私の推薦ベスト3
中学公民の「まよめの表現活動」私の推薦ベスト3

高木 俊樹...86
金野 誠志...88
福永 善則...90
大町 浩一...92
加藤 正行...94
鈴木 利多...96
三枝 浩史...100

表現活動の評価にポートフォリオを生かす法

西村公孝著「地球社会時代に『生きる力』を育てる」
波蔵著「意思決定の力がつく問題解決学習」

加藤 幸次...105
北 俊夫...105

連載講座

総合的学習を視野に入れた社会科授業理論30の提言

スバリ言う「社会科」
中心で「大又天」

12

社会科と総合的学習・道徳
●エコミックスリテラシーから社会科を見直す 12
●経済学殺人事件?...自省的能力の育成 12
●「社会科で求める『考える力』とは何か」 12
●「コンテクストへの思考」「テクニクへの思考」
●私にとっての社会主義―カベ崩壊から10年/21世紀どんな社会を見さすか
●志半ばで赴きし北海道石川先生の思いをうけつぎつ
●選択学習/授業づくりのポイントはどこか 12
●小学校 選択場面を組み込んだ指導と評価②
●中学校 個性的な経験を重視した選択学習
●わが県の情報...この授業あり36 鹿児島県の巻

岩田 一彦...106
猪瀬 武則...112
吉川 幸男...118
向山 洋一...122
北 俊夫...130
木田 昭博...134

2000年度「社会科教育」既刊特集主要目次

104